



2024年4月3日

各 位

会 社 名 株式会社フジ
代表者名 代表取締役社長 山口 普
(コード番号:8278 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 上席執行役員 開発・企画担当
豊田 靖彦
(TEL 082-535-8516)
当社の親会社 イオン株式会社
代表者名 取締役兼代表執行役社長 吉田 昭夫
(コード番号:8267 東証プライム市場)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2023年4月12日に公表した2024年2月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2024年2月期（2023年3月1日～2024年2月29日）

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想(A)	795,900	11,500	13,500	5,100	58円84銭
今回修正予想(B)	801,000	15,200	17,400	7,500	86円53銭
増減額(B-A)	5,100	3,700	3,900	2,400	—
増減率(%)	0.6	32.2	28.9	47.1	—
(ご参考)前期実績 (2023年2月期)	784,967	11,320	13,359	9,033	104円22銭

2. 修正の理由

当期は、新型コロナウイルス感染症の分類引き下げにより社会経済活動の正常化が進む一方、エネルギー価格の上昇や食料品・生活関連品の値上げが続き、くらしや事業を取り巻く環境は厳しい状況が続いています。

当社では、お客さまの生活防衛意識に対応した商品の提供や多様なニーズに合わせた付加価値の訴求により、食料品の販売が好調に推移し売上高が伸長いたしました。同時に、商品・在庫管理を徹底しロス削減などの取り組みを通じ、昨年並みの荒利益率を確保し、売上の伸長とともに荒利益額が増加しました。

また販売一般管理費においては、自社プロセスセンター活用による総労働時間数の削減などを通じた生産性の向上や、省エネ型の冷蔵・冷凍ケースへの入れ替えなどによる電気使用量削減への取り組みにより計画内で推移いたしました。これらによって営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに通期予想数値を上回る見込みとなりました。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以上